

ワークショップ状況報告

ワークショップ調査・分析
九州大学 大学院 平井 康之 研究室
呉 亜芳
盧 瑞雯
日向野 秋穂
岩下 恵都
佐野 虎之介

概要

- **内容**
 - ① 障がいのある子どもとそのご家族が遊具広場で実際に遊んでいる様子を観察する。また、保護者や子どもから直接感想を発表してもらう。参加動機を高めるため、家族で楽しむゲームなどの仕掛けを準備する。
 - ② 第一回に参加いただいた家族の保護者を対象に、既存の公園における課題やインクルーシブな遊具広場を整備するにあたって重視すべき点などについてヒアリングやディスカッションを行う。

- **開催日時**
 - ① 令和4年10月16日(日) 10:00～11:30
 - ② 令和4年11月10日(木) 10:00～11:30

- **場所** 舞鶴公園 三の丸広場（福岡県福岡市中央区城内1-4）

- **参加家族** 6家族（子どもの年齢 6～10歳）

- **主催** 福岡市

- **共催** インクルーシブふくおか、九州大学大学院芸術工学研究院平井ゼミ

概要

■ワークショップの様子

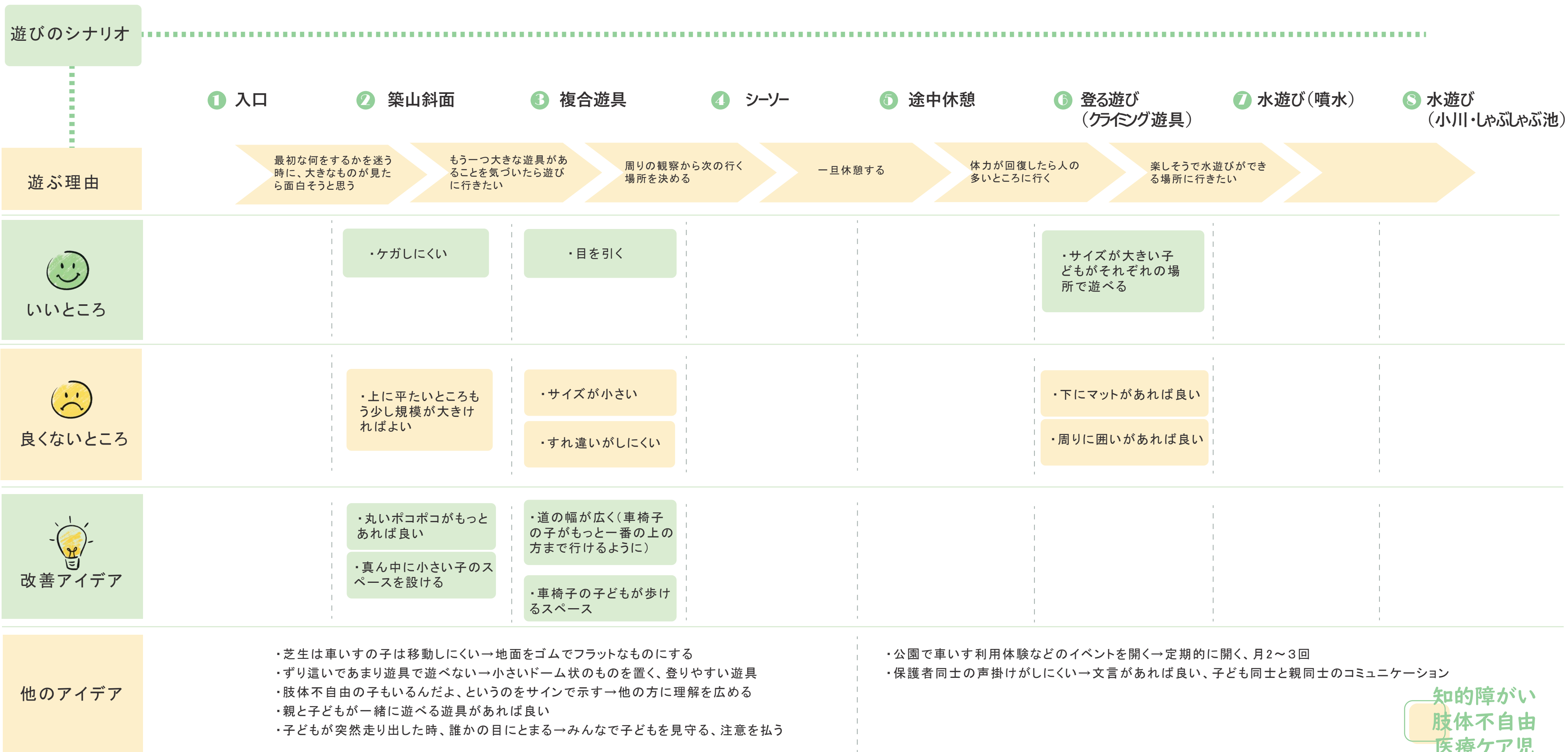
① 第1回

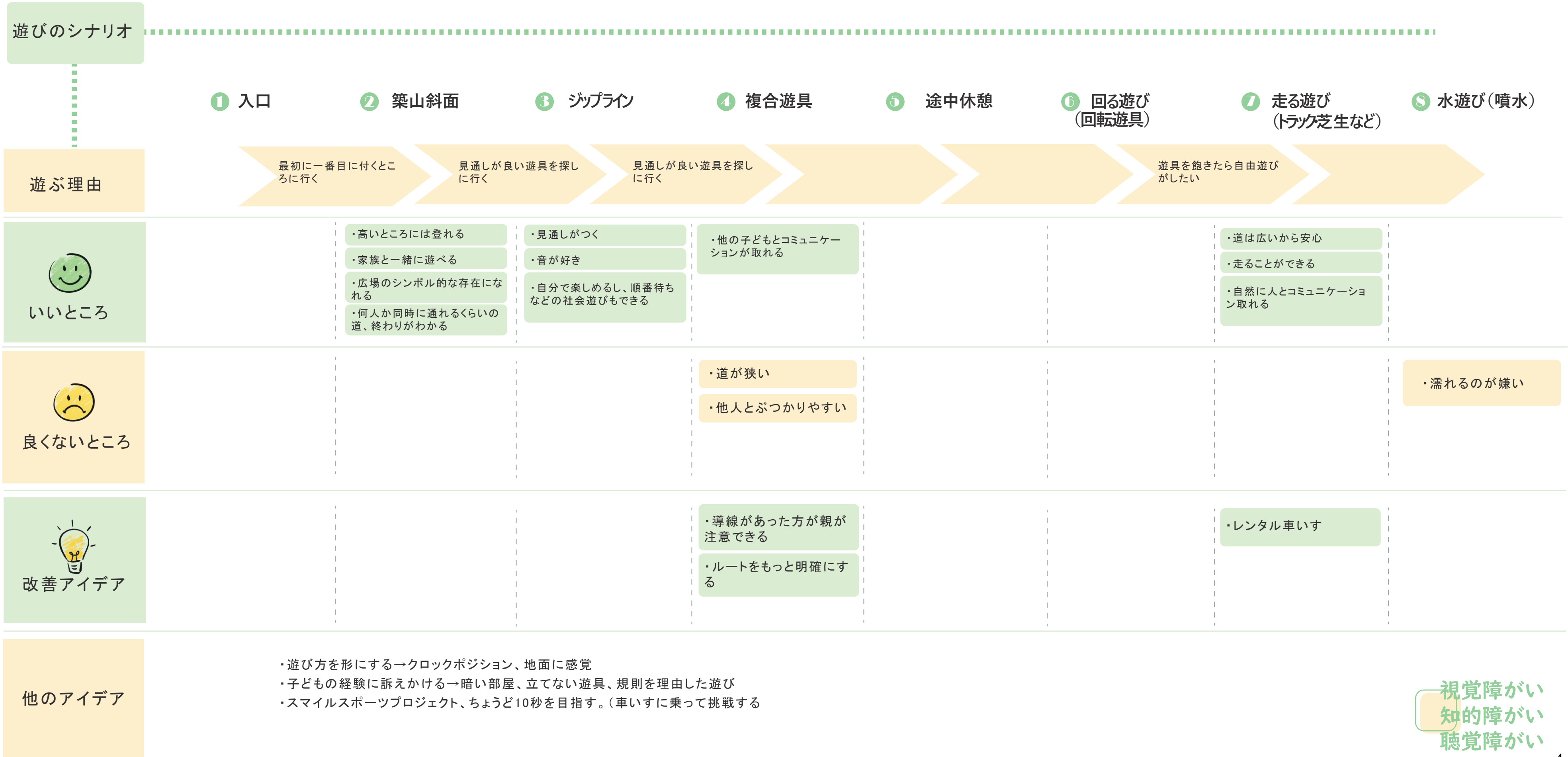


② 第2回






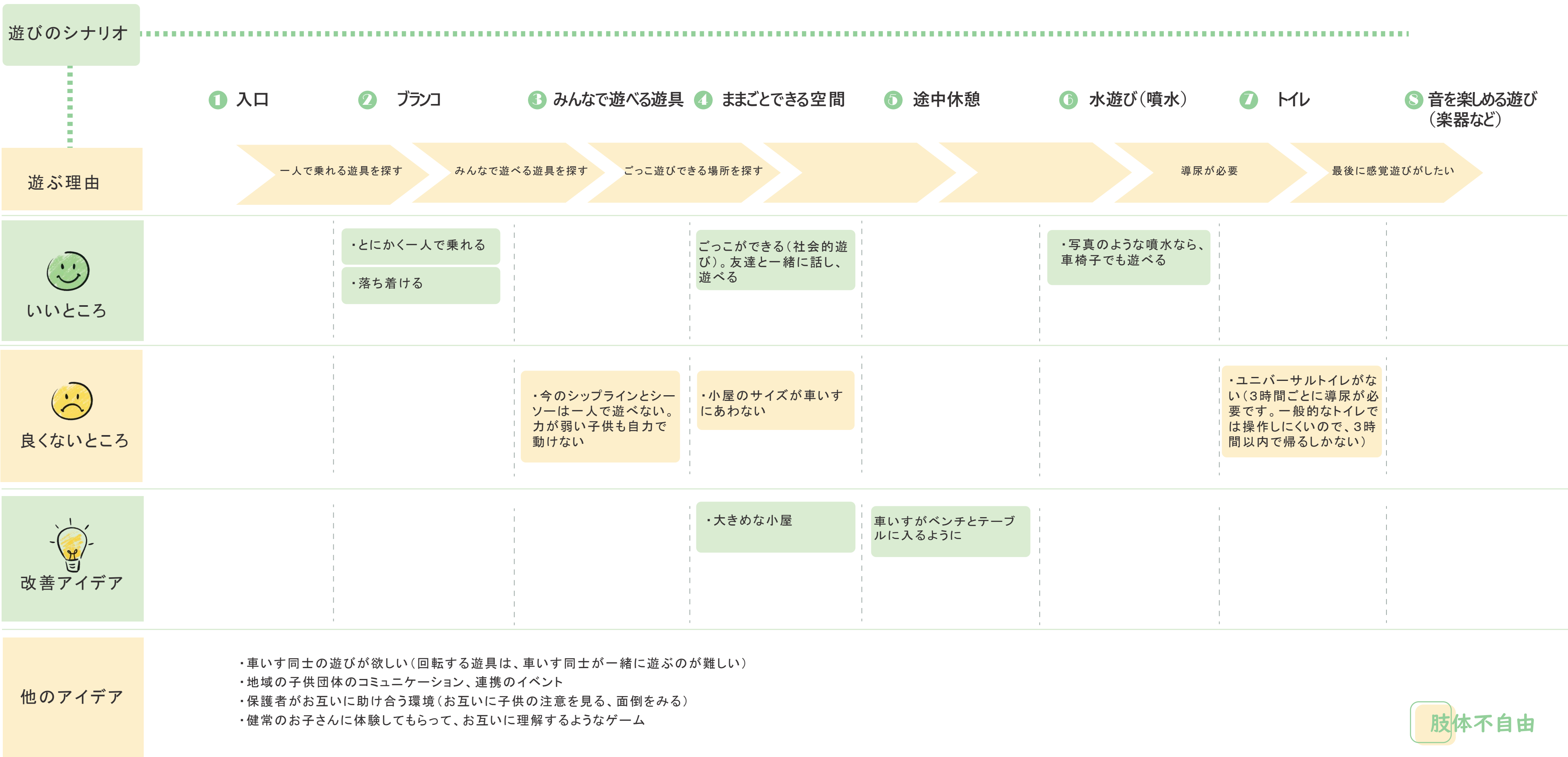
1 各参加者ごとのジャーニーマップ





視覚障がい
知的障がい
聴覚障がい

遊びのシナリオ								
遊ぶ理由	① 入口	② 跳ねる遊び (ジャンプ遊具)	③ ブランコ	④ 築山斜面	⑤ 途中休憩	⑥ 音を楽しめる遊び (楽器など)	⑦ 登る遊び (クライミング遊具)	⑧ 滑り台
 いいところ	最初はリラックスして環境を慣れたい	体を動かしたい	公園の声と環境を楽しめたい	大人と一緒に休憩する	周りの刺激を慣れたら遊び続く	自分の感覚を楽しめる遊具を探す	最初はリラックスして環境を慣れたい	最初はリラックスして環境を慣れたい
 良くないところ		・厚みがありすぎる	・幅が狭いので、大人が座れない、抱っこしながらだとそもそも座れない	・山から見て誰がいるかわかりにくい	・山の大小は良い			<ul style="list-style-type: none"> ・滑り台が熱すぎる ・大人が連れて登るのが大変 ・スロープ登って降りると、また車いすを取りに戻らないといけない
 改善アイデア		・リズムをつける(リズムのあるスロープ)	<ul style="list-style-type: none"> ・大人も転がれるハンモック型ブランコ ・座面が広くて座りやすいもの 	・導線があった方が親が注意できる		<ul style="list-style-type: none"> ・感覚の強度の大小が欲しい ・でっかいマリンバみたいな木製 	<ul style="list-style-type: none"> ・上で登っている子が下の子を把握できるようにする ・いろいろな登りができるといい 	<ul style="list-style-type: none"> ・平行して三種くらいのレベル別滑り台が欲しい ・一緒に遊べる、同時に遊べる滑り台
他のアイデア	<ul style="list-style-type: none"> ・子供や外国人でも分かる入口 ・ままごとが欲しい→社会的遊びができる場所が欲しい ・他の子が何しているか観察できる場所 ・保育園や幼稚園が療育園と一緒にイベントして欲しい ・子供の性犯罪を抑制する環境が公園に欲しい 				<ul style="list-style-type: none"> ・触っちゃダメよ→触っても良いけど、こう触ってね、を伝えられる環境 ・ままごとが欲しい→社会的遊びができる場所が欲しい ・経験を得るような仕組み(色弱のめがねとか体験) ・シーソーやジップライン、車いすで乗りたい ・ずり這いの子が遊べる環境 			



遊びのシナリオ



遊ぶ理由

自分が何をしたいか決められないので、とりあえずなんでも付いている複合遊具から遊ぶ

移動しながら遊べる

他の子どもと交流ができる遊具を探す

途中休憩

挫折しやすいから一人で居られる場所を探す

体力が足りないから最後に座ったまま全体が眺められる場所に行きたい

いいところ

- ・いろいろな遊び方がある
- ・回るのがとても楽しい
- ・他者との交流は自然にできる
- ・サイズが大きい子どもがそれぞれの場所で遊べる
- ・静かに一人で楽しめる
- ・自由に遊べる
- ・冒険の気持ちで挑戦できる
- ・こころが落ち着く
- ・気持ちは変えられる
- ・はだしになれる

良くないところ

- ・小さい
- ・遊び方の説明が必要
- ・揺れるのが危ない

改善アイデア

- ・もっと広がって、他の子どもと一緒に遊べる(今のところ、小さい子どもとぶつかる危険がある)
- ・他の子が自分の子を誘うようになればいい

他のアイデア

遊びのシナリオ

- ① 入口
- ② 複合遊具
- ③ 回る遊び (回転遊具)
- ④ 跳ねる遊び (ジャンプ遊具)
- ⑤ 途中休憩
- ⑥ 砂遊び砂場
- ⑦ ままごと (調理キットなど)
- ⑧ 水遊び (小川・しゃぶしゃぶ池)

遊ぶ理由



 いいところ

・みんなで遊べる

 良くないところ

・クツを脱ぐのか不明

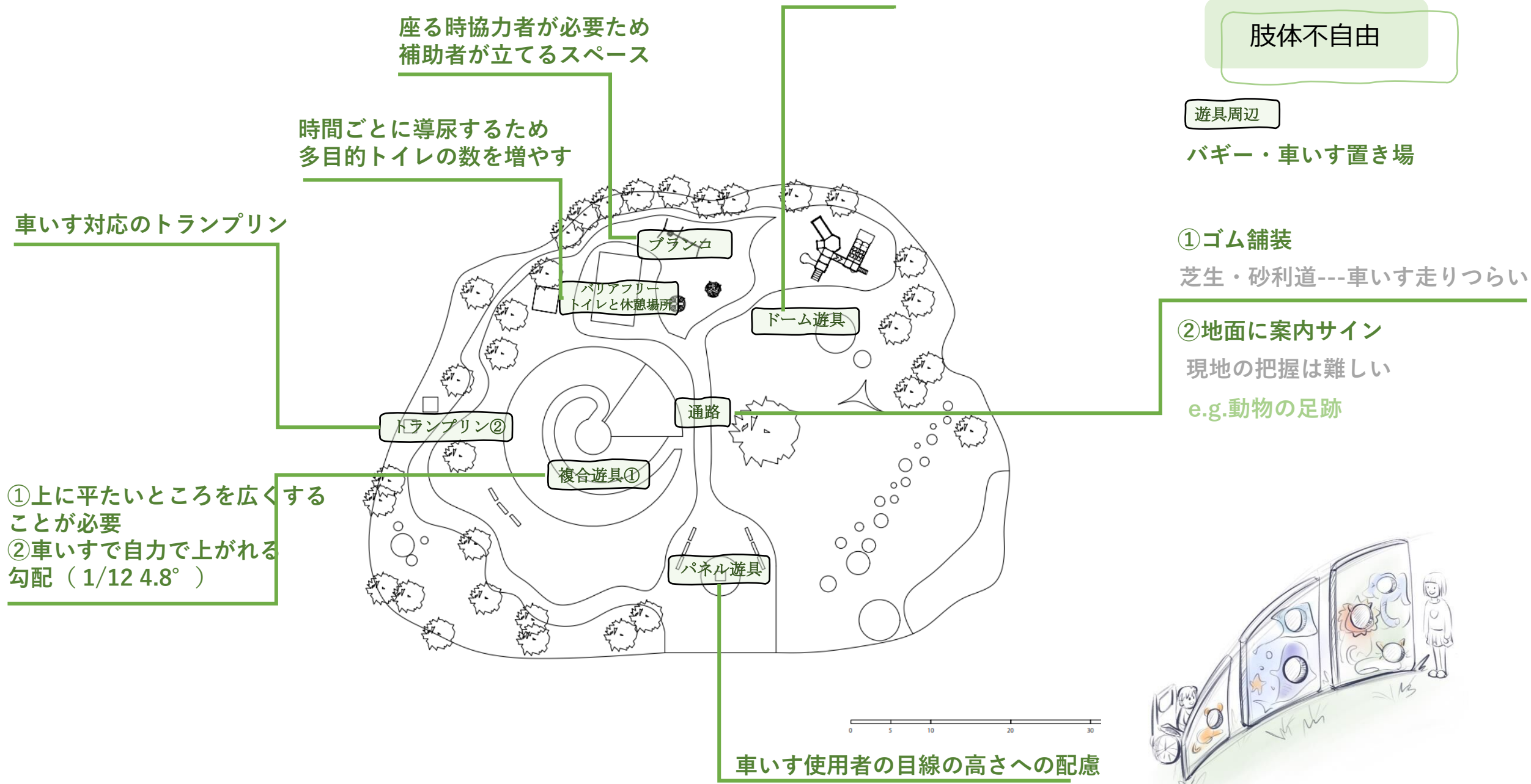
 改善アイデア

・導線があった方が親が注意できる

他のアイデア

発達障がい
知的障がい

車いすでもスムーズに通行できるエントランス



肢体不自由

遊具周辺

バギー・車いす置き場

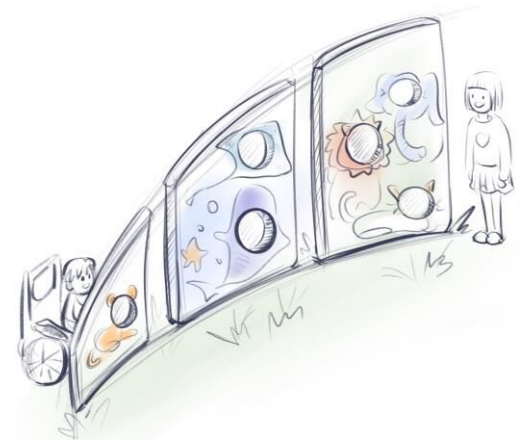
①ゴム舗装

芝生・砂利道---車いす走りづらい

②地面に案内サイン

現地の把握は難しい

e.g.動物の足跡



車いす使用者の目線の高さへの配慮

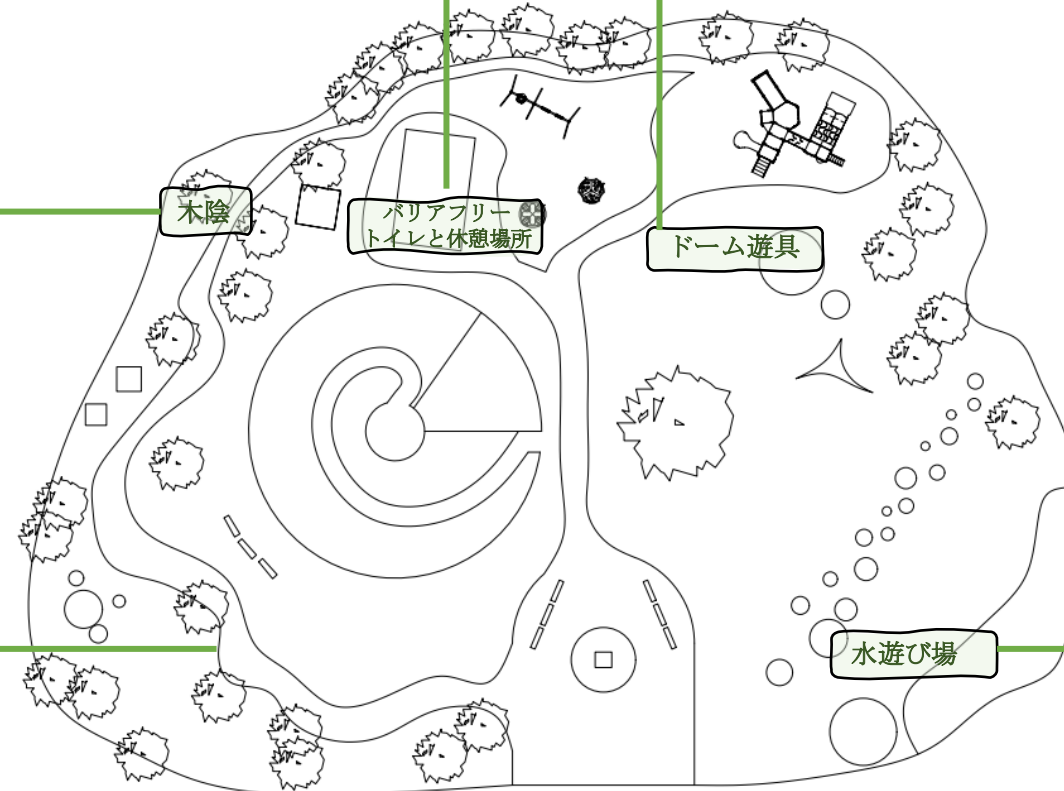
精神障がい

突然の体調不良に対応できる
プライベート休憩スペース

一人で楽しめる空間

静かなところに
休憩場所を設置

モノポリー（福岡ver.?)



自由探索できる
バイオフィリック要素を増やす
e.g. 落ち葉遊び

知的障がい

遊具周辺

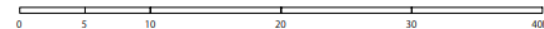
バギー・車いす置き場

思わぬ方向に駆け出す可能性
があるため、
周囲にベンチで囲まれる

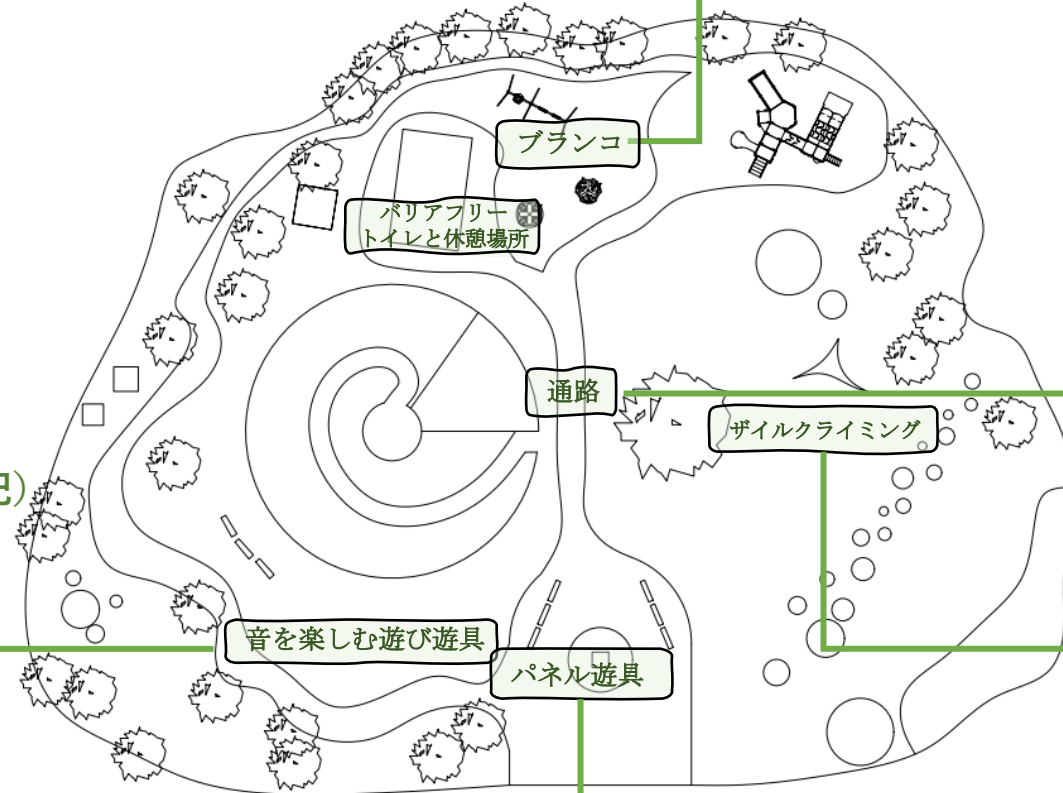
十分に走り回れる広さが必要

手先の力が弱いため、
下に十分な落下対策が必要

わかりやすい説明が必要
(平易な文章や絵、読み仮名を併記)

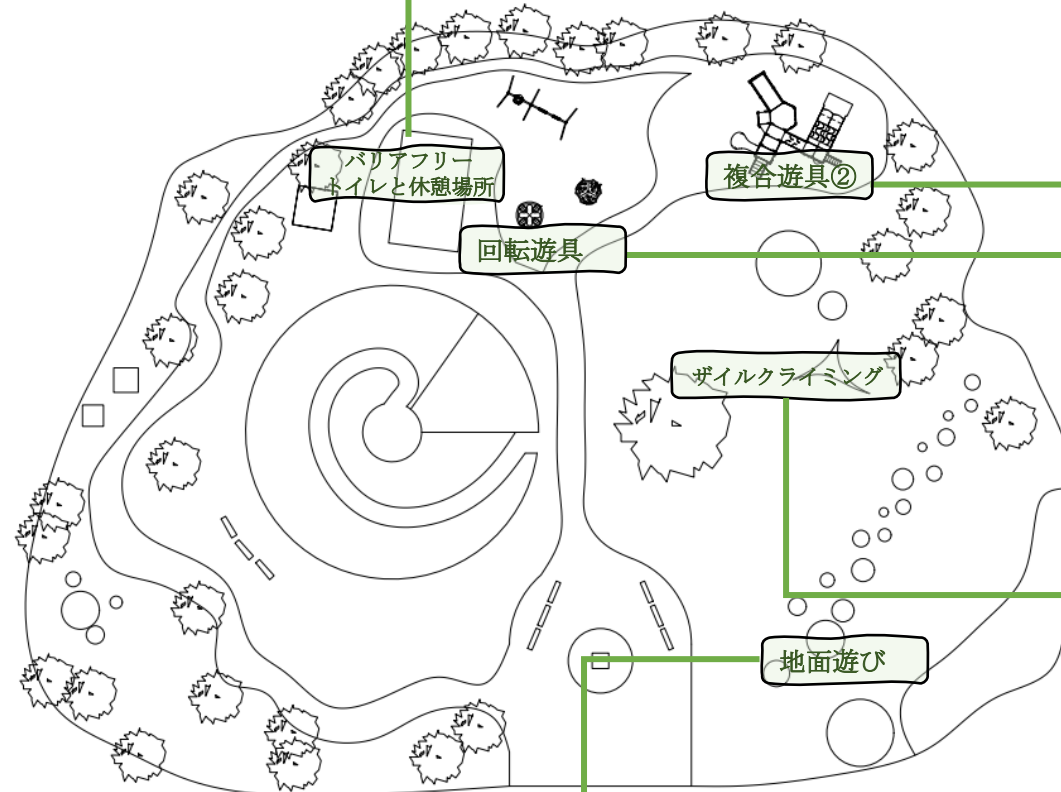


分かりやすい説明板
(平易な文章や絵、読み仮名を併記)



発達障がい

水分補給などの熱中症対策が必要



①下に空いてるところは休憩場所になれる

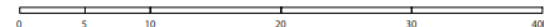
②他の子と一緒に遊べるために通路をもっと広がる必要がある

①コミュニケーションとるのが苦手のため、一人でも回るような工夫

②他の子が誘うってくれるような交流環境が必要

十分な落下対策が必要

わかりやすい説明が必要
(平易な文章や絵、読み仮名を併記)



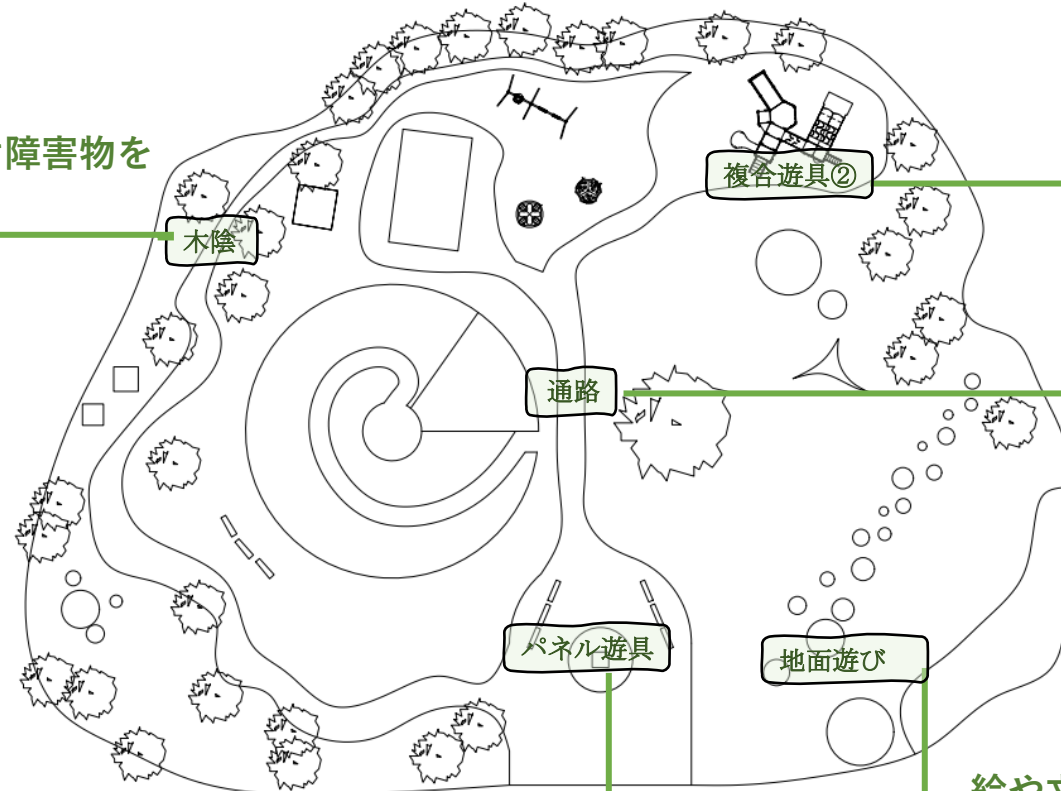
視覚障がい

- ①他の子と一緒に遊べるために通路をもっと広がる必要がある
- ②ルートに導線を付ける

現地の把握にくいため地面に案内サインを設置

e.g.動物の足跡

暗い場所はできるだけ障害物を設置しない



日差しで光るようなパネル遊具

絵や文字は赤や黄色など目立つ色を使う方が見えやすい

小道具などを設置し
良いコミュニケーションを促進

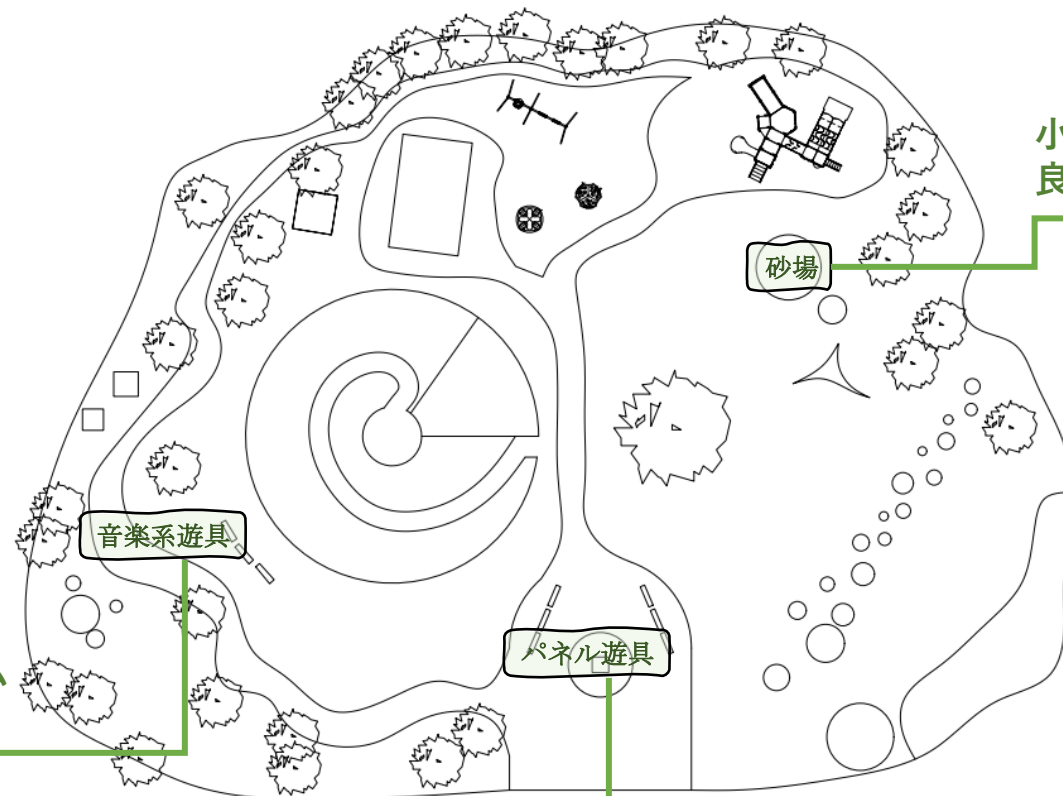
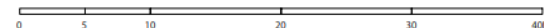
砂場

音楽系遊具

パネル遊具

音楽や楽器のボリューム
が調節できる工夫

パチンコみたいなよく
音を聞こえ遊具



遊具周辺

バギー・車いす置き場

- ①水分補給などの熱中症対策が必要
- ②時間ごとに導尿するため、多目的トイレの数を増やす
- ③突然の体調不良に対応できるプライベート休憩スペース

